

# デモタイム (体験コーナーにて)

宮崎一博<sup>1)</sup>

## 1. はじめに

今回のシンポジウムでは、身近な地質情報がテーマということで、デモコーナー（体験コーナー）を設けました。地質は本来、我々の身近に存在します。しかし、普段は地質を身近に感じることはありません。どうしたら地質を身近に感じることができるか、我々も大きな課題だと考えています。地質を身近に感じることができれば、大げさな表現ですが、世界観が広がります。

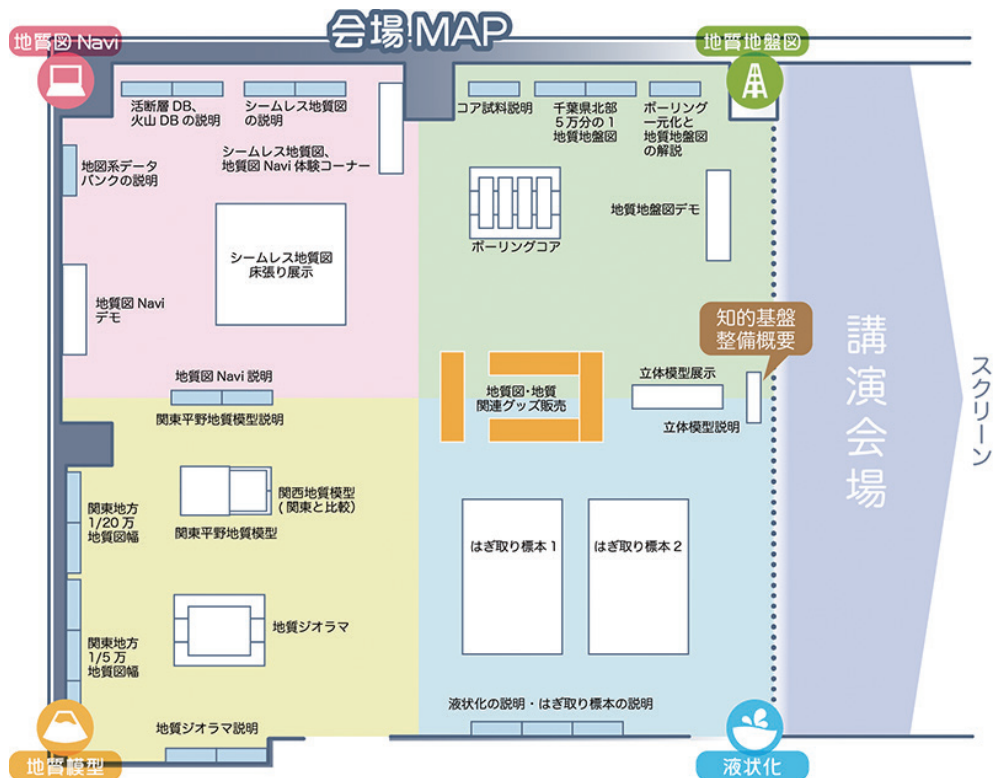
地質学には「現在は過去を解く鍵」という概念があります。近代地質学の基礎となった考え方です。現在を理解し、地層から過去を読み解くことは、逆に言えば、そこに暮らす我々の将来を予測することにもつながります。そのように考えると地質を身近に感じることの有効性が理解できると思います。

## 2. デモコーナー概要

デモコーナーでは、4つのサブコーナーを設けました（第1図）。各コーナーには4～5名の説明者を配置しました。来場者の方が積極的に地質について質問し、地質をより身近に感じていただけるように配慮しました。

サブコーナー1つ目は地質模型コーナーです。地質図とは何かについての平易な説明を、ジオラマ（第2図）を用いて研究者が行いました。同時にこのコーナーでは、関東平野地質模型を展示し、関東平野の地下に潜む巨大な凹みについての説明を行いました。

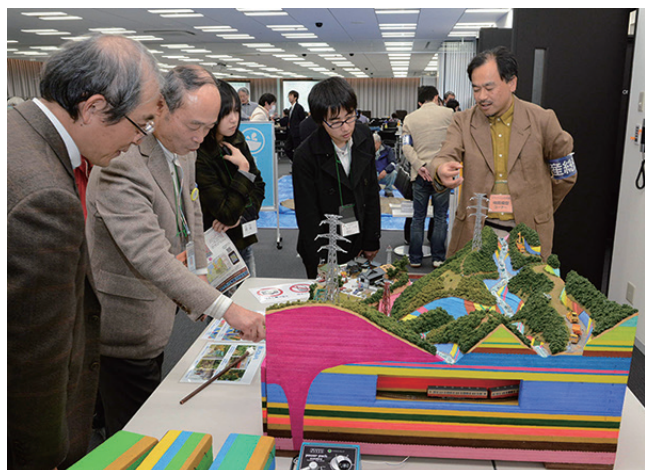
2つ目の地質図 Navi コーナーでは、Web および IT 技術を用いた地質情報の発信について紹介しました。以前に比べると格段に身近になった地質情報を体験していただけたと思います。このコーナーでは関東平野の20万分の1 シームレス地質図の床張り（第3図）も行いました。足下の地



第1図 デモコーナーの配置図。

1) 産総研 地質情報研究部門

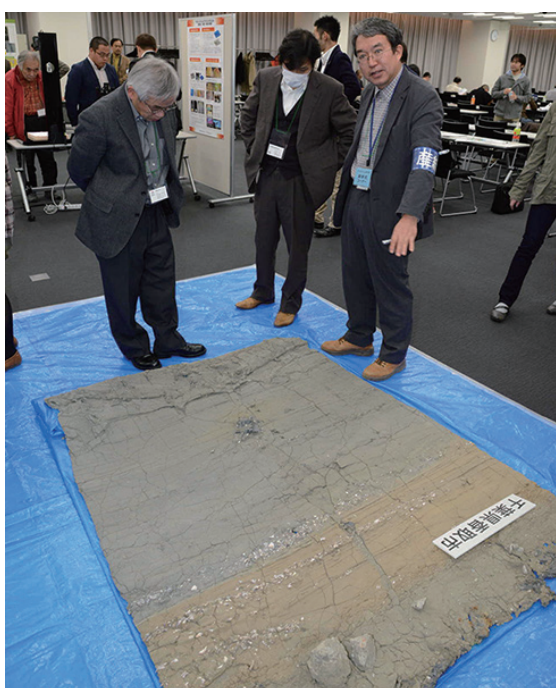
キーワード：デモタイム、地質模型、地質図Navi、液状化、地質地盤図



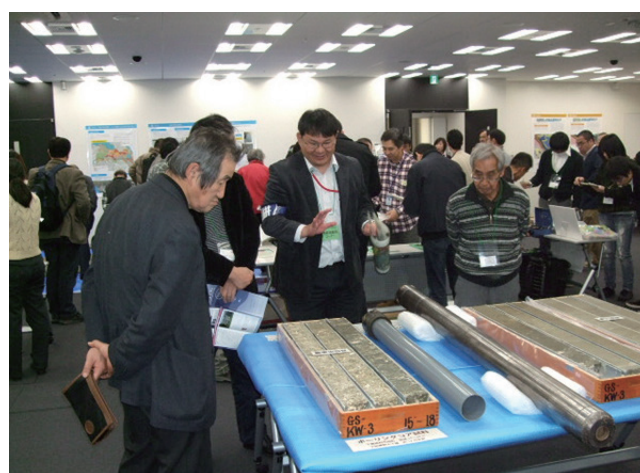
第2図 地質模型コーナーのジオラマ。



第3図 地質図 Navi コーナーのシームレス地質図床張り。



第4図 液状化コーナーの液状化した地層の剥ぎ取り標本。



第5図 地質地盤図コーナーのボーリングコア試料。

質の多様性を実感していただけたと思います。

3つ目は液状化コーナーです。地質では、実際のものを観察し記載することが重要です。このコーナーでは液状化を起こした地層の剥ぎ取り標本（第4図）の展示を行いました。近年ニュースなどで液状化の話題が多く取り上げられたこともあり、剥ぎ取り標本は特に来場者の方の関心を惹いたようです。

4つ目は地質地盤図コーナーです。平野部の地質を知るためには、ボーリングによる調査が欠かせません。ここではボーリングコアの実物（第5図）を展示しました。私たちの足下の地質について実感していただけたと思います。また、このコーナーでは現在作成を進めている千葉県北部の地質地盤図の展示を行いました。地質地盤図を用い、都市平野部での地質情報整備の今後についても説明を行いました。

### 3. おわりに

地質を実感するためには、フィールドに出て地層を見ることが最も効果的ですが、デモコーナーでの体験を通して、多少なりとも身近な地質を実感していただけたと思います。これをきっかけに地質についてももう少し詳しく知りたいと思っていただければ幸いです。今回のGSJシンポジウムのアンケート結果では、デモコーナーを評価する声が多かったように思います。最後になりますが、デモコーナーの準備および説明に携わった皆様に感謝いたします。

MIYAZAKI Kazuhiro (2014) Demonstration time.

(受付：2014年1月20日)